

Q7 なぜ、統一的な基準による地方公会計が導入されることとなったのか？

A7 主に次の2項目です。
① 公共施設などの老朽化対策が全国的な問題となり、「固定資産台帳」の必要性が増しました。
② 社会情勢の変化により、効率的な行財政運営が、より一層求められるようになりました。

Q8 地方公会計に弱点はあるの？

A8 市の事業は、公共性の高い事業であるため、地方公会計のようにお金に換算した事業の評価だけでは十分でなく、他の指標と組み合わせる必要がありそうです。

Q9 今後の展望は？

A9 統一的な基準による地方公会計の導入より、従来より得られるデータが大幅に増えることから、それらの情報を活用して、より安定した行財政運営を行うための判断材料のひとつにしていく予定です。



固定資産台帳って何？



固定資産台帳とは、市が保有する学校・道路など全ての資産の取得に関する情報や減価償却に関する情報などを網羅した台帳です。



— 広報紙面の作成を終えて —

私たちのゼミは、普段、企業会計をベースにして財務分析を学習しています。今回のプロジェクトで取り組む「地方公会計」は、企業会計とはかなり異なるため、そもそも「地方公会計」とは何かということから学び始めました。そして、広報紙面の内容については、新たな地方公会計についての疑問を解決しながら、市の財政などに関心を持っていただくために、市民目線でわかりやすい資料になるように心掛けました。具体的には、図や表を用いることでイメージをつかみやすくすることを工夫しました。一方、堅苦しいイメージをなくすために、日進市のマスコットキャラクターを使っています。

「地方公会計」と聞くと、難しいイメージがありますが、私たちの生活に関わる部分も多く、市民生活に密着した部分も多いと思います。私たちがこのプロジェクトを通して「地方公会計」を身近に感じ、住んでいる街をよりよくしていくためには、市役所の活動にも興味を持っていくことが大切であると気付くとともに、市民の皆さんにも、日進市の取り組みに興味や関心を持っていただくきっかけにつながればと思います。

(梶山女学園大学3年 星野ゼミ生一同)

Q5 新しい地方公会計の動向は？

A5 市では、平成20年度から新しい地方公会計に取り組んでいます。平成27年1月に、国から全国統一的の基準が示されましたので、平成29年度中に対応することになりました。今後、全国の地方公共団体において統一的な基準で作成された財務書類が公表されるようになります。

Q6 全国統一的な基準は、それまでの新しい地方公会計と何が違うの？

A6 主に次の3項目です。
① ⑩固定資産台帳の整備は任意であった。
→ ⑩固定資産台帳の整備が必須になりました。
② ⑩決算統計を用いて簡便的に原因と結果を記帳していた。
→ ⑩取引ごとに原因と結果を記帳することが必要になりました。
③ ⑩作成基準が全国でまちまちであった。
→ ⑩作成基準が統一されました。

大学連携事業



探究！地方公会計 ～地方公共団体取材しよう～

地方公会計について分かりやすくお伝えするため、梶山女学園大学現代マネジメント学部の学生の協力を得て本ページを制作しました。



Q4 なぜ、新しい地方公会計では、ストック情報やお金の動きを伴わないコスト情報を把握できるの？

A4 企業会計の要素を取り入れたことにより把握できるようになりました。主に次の3項目です
① 固定資産の保有量がお金に換算した形で把握できるようになりました。
② 固定資産の把握に伴い、減価償却費が把握できるようになりました。
③ 現金の動きだけでなく、取引の原因と結果を把握できるようになりました。

Q1 地方公会計とは

A1 市役所などで使われている会計のことです。

Q2 地方公会計の目的は？

A2 1年間の税金の使い道を明らかにするものです。1年間の税金の使い道をあらかじめ「予算」として定め、「予算」を使った結果を「決算」として検証しています。

Q3 新しい地方公会計とは

A3 現行の会計制度で、不足している情報を補足するため、企業会計の要素を用いた会計制度です。既存の会計制度は、1年間の現金の動きに注目した制度のため、ストック情報やお金の動きを伴わないコスト情報などが不足していました。



「原因」と「結果」の把握ができるとはどういうこと？

100万円の車を取得したケースに例えると、これまでは、100万円を支払ったことのみが記録されていましたが、新しい地方公会計では、100万円の車を取得したこと（「原因」）と、100万円の代金を支払ったため、現金が100万円減少したこと（「結果」）を同時に記録できるようになります。



「ストック情報」と「お金の動きを伴わないコスト」とは何？



「ストック情報」とは、公共資産などの資産保有量をお金に換算した情報です。また、「お金の動きを伴わないコスト」とは、施設などを使用したことによる資産価値の消費分（減価償却分）を指しています。



減価償却って何？



住宅や車のように、使用年数が経つにつれて、資産価値が下がる資産について、取得価格と耐用年数を用いて、1年間の価値の減少を表すものです。